

箴言26章 70人訳

- 1 収穫のときの露、夏のときの雨の様に、誉は愚か者にはふさわしくない。
- 2 鳥や雀が飛ぶように、誰のところにも理由のない呪いは来ない。
- 3 馬に鞭、ロバに突き棒が与えられるように、悟りのない国に杖が与えられる。
- 4 愚かなものには彼の愚かさに従って答えるな、あなたが彼の様にならないためである。
- 5 しかし、愚か者に彼の愚かさに従って答えよ。彼自身が自分で自分を賢いとうぬぼれないように。
- 6 愚かなメッセンジャーを通してメッセージを送るものは、彼の故、彼自身の道のために非難を生む。
- 7 足の動きを取り出すように、愚か者の口から反逆を取り除く。
- 8 愚か者に栄光を与えることは石投げ器に石を備えるようなものだ。
- 9 愚か者の手にある働きは、酔っ払いの手にとげが育つようなものだ。
- 10 愚か者のすべての肉は多くの困難を耐えるが、彼らの怒りがそれを無にする。
- 11 犬が自分の吐いたものに戻り、忌むべきものになるように、愚か者は自分の邪悪さにより、罪に戻る。(罪をもたらす恥がある、栄光と恵みの恥もある)
- 12 自分で自分を賢いとみなしている人を私は見た。しかし彼よりは愚か者の方に望みがある。
- 13 旅に遣わされた怠け者は、道に獅子がいる、通りに殺人者がいるという。
- 14 ドアがちょうつがい回るように、怠け者はベッドで回転する。
- 15 自分の手をふところに隠す怠け者は、その手を自分の口に持っていくことさえできない。
- 16 怠け者は自分の目には、もっとも満足のいくメッセージをもたらす者よりも賢く見える。
- 17 他の人の事情に詳しい人になることは、犬の尾をもつようなものである。
- 18 訂正を必要とする人が他の人々に正しいことを語ろうとするなら、彼自身がその提案に最初に落ちるものとなり、そしていずれ覆される。
- 19 友達に偽りを行いながら、それが見つかったときには、冗談だよ、という人も同じである。
- 20 多く木を燃やせば、炎が増すようなものであり、二心のものがいなければ、争いはやむ。
- 21 石炭のために暖炉、火のために木があり、争いの大騒ぎのために暴言の人がいる。

- 22 悪党のずるい言葉はソフトである、しかしそれは腹のもっとも深い部分を打つ。
- 23 不正直なものの与えた銀は陶器の破片と思われる、柔らかな唇は悲しい心をカバーする。
- 24 泣く敵は彼の唇ですべてを約束する、しかし心の中では偽りを計画する。
- 25 あなたの敵が大きな声で懇願しても同意してはならない。
彼の心の中に7つの忌むべきものがあるからである。
- 26 敵意を隠すものは偽りをおおう、しかしすぐに判明する、公の集まりで彼の罪をあらわす。
- 27 隣人のために穴を掘るものは、自分でその穴に落ちる、石を転がすものは、自分の上に転がす。
- 28 ウソをいう舌は真理を憎む、ガードされていない口は大騒ぎを起こす。